

科目名		テーマ		
韓国語 I A		初級韓国語		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修 / 指定科目
山田 紀 浩	1	2	経済情報学科	選択必修 / 教職課程科目(66条の6)

### [ 授業の内容・到達目標 ]

<p>韓国語は日本人にとって非常に学びやすい外国語である。語順が同じであるため、短い名詞文であるならば、簡単な文体に単語をはめ込むだけでできあがる。しかし日本語もその文字である“ひらがな”“カタカナ”が分からなければ、簡単な文章でも読み書きができない。そのためにこの授業では、まず韓国語の文字であるハングルについて、その書き方・読み方について学習し、単語の読み書きを反復練習しながらハングル文字を完全にマスターすることとする。そしてその後韓国語の基礎文法を学び、簡単な自己紹介や会話ができるようになることを目的とする。この授業は基礎コースであるために複雑な内容には入らない。ただ、韓国語という語学は日本人にとって習得しやすい外国語であるということを理解し、今後の韓国語学習のためのモチベーションにしてほしい。そのために語学ばかりでなく韓国の情報は常に提供するようにする。またビデオや歌を通し韓国を身近に感じられるようにする。</p> <p>この授業の到達目標は、韓国語の文字であるハングルをマスターすることはもちろんであるが、文法的には名詞文の肯定、疑問、否定形をしっかりと理解することである。</p>
---

### [ 授業方法 ]

<p>教科書にそった授業を行うために教科書が必ず持参すること。      事前に教科書の単語学習をしてくること。      韓国語に触れる目的でビデオや歌を鑑賞することもある。</p>
--

### [ 成績評価の方法 ]

①授業への参加態度	10%
②課題レポート	30%
③期末試験成績	60%

### [ テキスト ]

### [ 参考文献 ]

オムジョンミ「アンニョンハングンマル」(朝日出版社)	長谷川由起子「コミュニケーション韓国語」(白帝社) 油谷幸利・南相瓔「総合韓国語 1」(白帝社) 油谷幸利・南相瓔「総合韓国語 2」(白帝社)
----------------------------	---

### [ 履修上の注意・その他 ]

ノートは必ず執ること。
-------------

### [ 授業計画 ]

実施回	内 容
1	イントラダクション ハングル文字の子音と母音
2	イントラダクション ハングル文字の子音と母音
3	ハングル文字の発音 平音、激音、濃音について
4	ハングル文字の発音 平音、激音、濃音について

5	複合母音について パッチムについて
6	複合母音について パッチムについて
7	ハンゲルに慣れる ハンゲルを使ってのいろいろな標記練習
8	ハンゲルに慣れる ハンゲルを使ってのいろいろな標記練習
9	簡単なあいさつことば 決まり文句
10	簡単なあいさつことば 決まり文句
11	～は～です。の文 簡単な自己紹介
12	～は～です。の文 簡単な自己紹介
13	～は～です。 うちとけた表現とかしこまった表現
14	～は～です。 うちとけた表現とかしこまった表現
15	家族の単語 簡単な家族紹介
16	家族の単語 簡単な家族紹介
17	～は～ですか。 疑問文のうちとけた表現とかしこまった表現
18	～は～ですか。 疑問文のうちとけた表現とかしこまった表現
19	韓国語での“こ、そ、あ、ど”言葉 身の回りの単語
20	韓国語での“こ、そ、あ、ど”言葉 身の回りの単語
21	～の、～のもの、～も ～だ（ぞんざいな文章）
22	～の、～のもの、～も ～だ（ぞんざいな文章）
23	名詞の否定文 否定文のかしこまった表現とうちとけた表現
24	名詞の否定文 否定文のかしこまった表現とうちとけた表現
25	漢語数詞について 漢語数詞を使っての練習
26	漢語数詞について 漢語数詞を使っての練習
27	固有数字について 固有数詞を使っての練習
28	固有数字について 固有数詞を使っての練習
29	春学期学習内容の総復習
30	春学期学習内容の総復習